

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	いそ 磯 なおき 直樹
(研究テーマ名) フランス柔道文化の社会学 —ブルターニュ地方を中心に—	
(研究活動実績) <p>本年度の研究は、前年度までにパリ郊外のサンドニで行ったフィールドワークの成果を踏まえている。この成果の一部は、以下の論稿として公刊した。</p> <p>磯直樹, 2013, 「パリ郊外における柔道実践—暴力と境界の問題をめぐって」, 『スポーツ社会学研究』 21(2) .</p> <p>パリ郊外の事例は、移民系住民と低所得者層が大半を占める地区における柔道実践を扱った。本年度に扱ったブルターニュ地方のカンペール周辺地域においては、移民系住民と低所得者層は少数派である。柔道実践を取り巻く文化的・経済的状況を異にする2つの地域を比較しつつ、両者の差異と共通性を分析することを目指した。フィールドワークは5月に行い、その他の研究は文献研究に基づいて行った。</p> <p>その結果、カンペール周辺地域では、パリ郊外の対象地区とは異なり、柔道実践に物理的暴力と社会的境界が深くは関わらないことが分かった。一方で、小学生に相当する年齢の子どもに対する補助教育として柔道が行われていることは、両地域で共通している。カンペール周辺地域では、ブルターニュの伝統格闘技である Gouren に柔道が取って代わり、近年では後者の方が圧倒的に競技人口は多い。本年度は、Gouren に関する研究も開始したが、これと柔道の関係については、今後の研究課題として残されている。</p>	